

ベンチくんは おじいさんと握手を交わしました



明石校スケー
ルキャラクター
「ベンチくん」



ベンチくんと子供たちとの触れ合いをしていた時、女性の方と、車いすに乗られているおじいさんに出会いました。

おじいさんはベンチくんを見て興味をもたれ、ベンチくんのところにやってきました。そして、ベンチくんと握手を交わし、記念撮影を取りました。そして、とても嬉しそうに去って行かれました。

私たちは、とても興味を持っていただき、大変うれしく思いました。

このように、老若男女人を笑顔にできるよう、今後も活動を頑張っていきたいです。 **千転万起！ 躍進継続！！**



～朗読ライブの感想～

今回初めて朗読ライブの司会を担当することになりました。最初はしっかり頑張れると思っていたけど、本番になると子供たちがいたので急に緊張したりして大きな声が出なかったり、所々詰まったり、下を見てしまったり、色々な課題が見つかりました。次はこれらの課題を克服していきたいです。朗読ライブの司会も無事にやり切ることが出来て、良かったと思います。2年 石井翔吾

今回の朗読ライブは初めて朗読をすることになり、精一杯練習したことを生かして全力を出すことができました。また、皿回しを少し失敗しましたが、拍手を頂き、とてもうれしく思いました。しかし、不自然な息継ぎで言葉が詰まってしまいました。

次回の朗読ライブでも朗読の練習を重ね、さらに、よりよい朗読ライブになるよう頑張っていきます。1年 大橋 央夢

初めて朗読を人前で披露して、とても緊張しました。文の暗記や感情の込め方など、練習してきたことの成果を発揮できました。ですが、どうしても声が小さくなってしまったり、今後の課題を見つけたりもでき、さらに頑張っていこうと思いました。朗読も音楽も素直に楽しんで下さっていて初めての舞台が良いものになりました。ありがとうございました。1年 溝口 薫乃

今回、新メンバーで地域貢献事業の朗読ライブ・コンサートを行うことができ、朗読や、岸本宗人さん、高松太地さんのギターやピアノのライブで多くの共感をいただき商店街の活性化、地域活性化を行うことが出来ました。

また、R-3 様のご協力を得て朗読ライブ・コンサートをベンチプロジェクトチーム丸となってチャレンジさせていただきました。また駅前でのストリートライブでは多くの方々の出会いがあり「ベンチくん」とともにチームの存在をアピールさせて頂きました

相生学院明石校 校長 尾池 良一



Use your right hand for you and your family. Use your left hand for your home village and society.

右手は、自分と家族のために。左手は、社会とふるさとのために。 By、明石校 MOTTO.